

【Q&A】タブレット端末の貸出について

Q1 「GIGA スクール構想」とは何ですか。
A 文部科学省が提唱する「全国の児童生徒向けの1人1台端末と、学校における高速大容量のネットワークを一体的に整備し、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育を実現させる構想」です。
Q2 端末の利用について料金はかかりますか。
A 端末は無償貸与です。ただし、家庭のネットワークに接続した場合の通信料金は家庭負担となります。
Q3 端末はいつまで借りることができますか。
A 転校や卒業等、お子様が通学する学校での在籍期間が終了する際に、学校へ返却をお願いします。
Q4 端末の仕様や特徴について教えてください。
A 別紙「美里町版 GIGA スクール構想について」の「導入端末」部分をご参照ください。
Q5 端末のログインはどのようにすればよいですか。
A お子様それぞれの「@gs.myswan.ed.jp」のアカウントにてログインしてください。
Q6 端末やアプリの操作が分からなくなった場合はどうすればよいですか。
A 学校にお問い合わせください。
Q7 端末の故障や動作不具合が生じた場合はどうすればよいですか。
A 学校にお問い合わせください。それにより、端末の修理・交換が必要となった場合につきましては、Q8のAをご参照ください。
Q8 故障や破損、紛失、盗難等の事由が生じた場合はどうすればよいですか。
A 速やかに学校に申し出てください。代替の端末を貸与します。故障した場合は、けがや感電の原因になりますので端末を分解しないでください。 なお、盗難等の被害にあった場合は、警察に届け出て、その証明を受けてください。
Q9 端末をどのような学習場面で使用するのですか。
A これまでは実施することが難しかった学習に取り組むことができます。具体的な活用場面につきましては、別紙「美里町版 GIGA スクール構想について」の「1人1台タブレット端末による学習イメージ」をご参照ください。また、新型コロナウイルス感染症や自然災害等による学校の臨時休業等になった場合、子供たちの学びを継続させるためのツールとして活用します。
Q10 端末を学校で保管するのではなく、家庭へ持ち帰るのですか。
A 学校からの指示以外は家庭へ持ち帰りできません。
Q11 学校以外のネットワークに接続することはできますか。
A 家庭、学校で許可した公共施設のネットワークに接続することが可能です。ネットワークへの接続方法については、タブレット端末の使用の手引きをご覧ください、接続方法についての確認をお願いします。※家庭（別居祖父母、親戚等も含みます。）
Q12 子どもが不適切なサイト等へアクセスしないか心配です。
A 有害サイト等へのアクセスを制限するため、一定のフィルタリング設定を行っています。GIGA スクール構想による端末の利用に限らず、スマートフォンやSNSが子どもたちに普及する中、適切な情報モラルを身に付けることが社会的に求められています。学校におきまして、安全で安心なインターネット

利用に向けた情報モラル教育に取り組んでまいりますが、ご家庭におきましてもご協力をお願いいたします。

随時更新します。（令和３年９月現在）

GIGA スクール 構想

子どもたちに1人1台タブレット端末を整備し、
学校における高速インターネット環境を整備

令和時代の「学び」のスタンダード
タブレット端末を、鉛筆やノートと並ぶ
「新しい文房具」として日常的に活用

家庭への
持ち帰り

これまでの
教育実践

×

ICT

=

子どもたち1人1人に個別最適化された学び
社会とつながる協働的・探究的な学び

未来の地図を描き自ら前へ
ふみ出す力をもった子どもの育成

1人1台タブレット端末 による学習イメージ

決められた教室・学年の中で、
同じ目標に合わせ、
同じ内容を同じペースで、
みんなで一緒に学ぶ

場所や学年、時間にかかわらず
自分の目標に合わせ、
それぞれの学びをそれぞれのペースで
個別に、時にみんなで協力して学ぶ



AI 学習ドリルや学習アプリ、授業動画の活用により、自分の学習状況や進度に合った問題に取り組む。

一人一人の考えを同時に一画面に映し出してみんなで共有する。共同編集で、リアルタイムで考えを共有しながら、グループで資料を作成する。

病気や入院等、様々な事情によって通学が困難な場合であっても、学習に参加する機会や交流する機会を持つ。



アンケートや学校だより等の学校からの配付物をデジタルで受け取り、オンラインで回答・提出する。

インターネットでの情報収集や、写真・動画による記録を行い、デジタルによる資料・作品の制作を行う。

音声入力機能や翻訳ソフトを使って、感想文を作成したり、英語のスピーキング練習を行う。

導入端末

iPad(アイパッド) 第8世代

搭載 OS	iOS
寸法	250.6mm×174.1mm×7.5mm
質量	490g
バッテリー	駆動時間:約 10 時間
カメラ	アウトカメラ・インカメラ対応
ディスプレイ	タッチパネル

タブレット端末内にソフトやプログラムを入れて、設定・管理するのではなく、クラウド上で様々なサービスを利用し、データ管理を行う。

- ☑ 万が一故障してもデータが失われることがない。
- ☑ 改めてソフトをインストールしたり、設定をしたりする必要がない。
- ☑ Google Workspace for Education(旧「G Suite for Education」)のアカウントにログインできる。

起動の速さ

いつでもすぐ起動
起動時間:平均5~10秒

高い安全性

インターネット経由で最新の
セキュリティプログラムへ更新



授業に合わせた利用スタイル

ソフトウェア

普通教室内に電源キャビネットを設置 ⇒ 端末の同時充電可能

Google Workspace for Education
(旧「G Suite for Education」)



ドキュメント, スプレッドシート, スライド

それぞれ、文書作成ツール、表計算ツール、プレゼンテーション作成ツールであり、Microsoft 社の Word, Excel, PowerPoint の Google バージョンイメージ。いずれもリアルタイムにて複数人による同時編集が可能。
⇒配付プリントやレポートの作成、データ整理とグラフ化、授業スライドや発表資料の作成



フォーム

インターネット上でアンケートや投票、テストなどが行えるツール。回答を回収すると、自動的に集計される機能も搭載している。
⇒授業の理解度確認のための小テスト、出席確認、授業後アンケート



Google Meet

離れた位置にいる教師と児童生徒をつなぐビデオ会議アプリ。世界中の人々とコミュニケーションを図ることができる。
⇒臨時休業時等における双方向型のオンライン授業の実施



Jamboard

リアルタイムでの同時編集ができるインターネット上のホワイトボード。手書きでの文字・図の入力や付箋の貼付け等が可能。
⇒グループ学習時のブレインストーミング



ドライブ

無制限に保存できるオンラインストレージサービス。フォルダやファイルごとに他のユーザーとの閲覧や編集を許可できる。
⇒文書・写真・動画等の保存、他のユーザーへのデータの共有



Classroom

目的に応じたクラスが作成でき、課題の投稿・採点・返却、教材や資料の共有、連絡事項の発信、チャット等を1か所で行うことができるツール。Classroom を通じて、フォームで作成したアンケートやMeetのリンクへのアクセスが可能。
⇒各教科・学級別に「クラス」を作成し、当該「クラス」を Google Workspace for Education(旧「G Suite for Education」)の各種サービスを活用した学習支援の起点とする。